

QST病院で口腔を含む頭頸部悪性黒色腫に重粒子線治療を行った患者さんへ 東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科で口腔を含む頭頸部粘膜色素沈着の写 真撮影を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構と東京歯科大学市川総合病院では、頭頸部悪性黒色腫に対して重粒子線治療を行った患者さん、または粘膜悪性黒色腫を含む頭頸部粘膜に色素沈着を認めた患者さんの内視鏡やカメラなどで病変部を撮影した写真画像データを用い、将来的に、頭頸部領域の色素沈着を中心とした疾患から粘膜悪性黒色腫と疑われる症例を予測することができるAI (artificial intelligence：人工知能)を開発する研究を行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 頭頸部粘膜悪性黒色腫に対する診断補助AIの開発

[実施期間] 許可日～2027年3月31日

[研究機関及びその長の名前]

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 (部門長：中野 隆史)

東京歯科大学市川総合病院 (病院長：西田次郎)

[研究代表者] 伊川 裕明 (量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院)

[研究責任者] 野村 武史 (東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科)

[研究の目的] 頭頸部領域の色素沈着を中心とした病変画像から粘膜悪性黒色腫と疑われる症例を予測することができるAIを開発すること。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

QST病院 (旧 重粒子医科学センター病院/放射線医学総合研究所病院等) でこの研究期間が終了するまでに、頭頸部粘膜悪性黒色腫の病気のためにQST病院を受診され、病変部の写真を撮影している方。及び、東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科でこの研究期間が終了するまでに粘膜悪性黒色腫を含む色素沈着を認め、病変部の写真を撮影している方。

●利用する情報及び収集方法

医用画像サーバ、画像保存専用パーソナルコンピューター、電子カルテ、紙カルテ等に保存されている画像情報、診断名を収集します。新たな質問や検査はありません。収集したデータは、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、パスワードをかけるなど安全管理に配慮した上でクラウドや郵送等の方法により共有して、研究を実施します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前などの個人を直接特定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で用います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報が外部に出ることはありません。（個人情報保護法及び各研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、病変の写真を2022年11月までに撮影した方は2023年5月31日までに、2022年12月以降に撮影した方は撮影日から半年以内までに、下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。上記期限を過ぎた後でもいつでもお申し出いただけますが、解析に使用して個人情報と切り離されてしまった情報は取り除けないことがあります。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区六川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 伊川 裕明

電話：043-206-3306

（平日9:00~17:00）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県市川市菅野5-11-13

東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科

野村武史

電話：047-322-0151

（平日9:00~17:00）